

製品名	n-酪酸無水物		AGHS/JP
MSDS 番号	80510	改訂日	28. 3. 2019
改定番号	5	発行日	28. 3. 2019

1. 製品及び会社情報

製品名
n-酪酸無水物

製造元あるいは供給元の詳細
Celanese Sales Germany GmbH
Am Unisys-Park 1
65843 Sulzbach (Taunus)
Germany

製品情報
PS.Chemicals.EU@celanese.com

緊急連絡先
+(65) 62656917 (Operations Room direct dial)
or fax request to +(65) 62664696 (Facsimile to Operations Room)
or email to posh.er@paccoffshore.com.sg

In China Emergency Number: 86-532-83889090 (NRCC)

特定用途
中間体

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

危険	区分
引火性液体	区分4
皮膚腐食性 / 刺激性	区分1B
急性毒性(経口)	区分4
急性水生毒性	区分3

記号



注意喚起語



警告

製品名	n-酪酸無水物		AGHS/JP
MSDS 番号	80510	改訂日	28.3.2019
改定番号	5	発行日	28.3.2019

危険有害性情報

H227 - 引火性液体。
 H302 - 飲み込むと有害。
 H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
 H402 - 水生生物に有害。

注意書き

P210 - 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。
 P234 - 他の容器に移し替えないこと。
 P260 - 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 - 取り扱い後は手をよく洗うこと。
 P273 - 環境への放出を避けること。
 P280 - 保護手袋/衣類および保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P301 + P330 + P331 - 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 P303 + P361 + P353 - 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 P304 + P340 - 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P310 - 直ちに医師に連絡すること。
 P363 - 汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。
 P403 + P235 - 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 P501 - 内容物 / 容器の廃棄は地域の規則に従い行う。

3. 組成、成分情報**化学特性**

Butanoic acid, anhydride

成分及び含有量

成分及び含有量	CAS番号	パーセント %
Butyric anhydride	106-31-0	min 98
酪酸	107-92-6	max 2

4. 応急措置**一般情報**

衣類についた場合、即衣類を脱ぎ、確実に除去すること。 Pay attention to own protection. どのような場合でも、医師に安全データシートを見せること。

皮膚

直ちに最低15分間は多量の水で洗い流す。 医療処置を受ける。

製品名	n-酪酸無水物		AGHS/JP
MSDS 番号	80510	改訂日	28.3.2019
改定番号	5	発行日	28.3.2019

眼

直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。直ちに医師を呼ぶ。

吸入した場合

安静にする。新鮮な空気のある場所に移動する。直ちに医師を呼ぶ。

飲み込んだ場合

意識があれば、水をたっぷり飲ませる。飲み込んだ場合は、吐かせず、医師に相談します。

5. 火災時の措置

NFPA : 毒性 : 3 引火性 : 2 不安定性 : 1

適切な消火剤

泡、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO₂)

使ってはならない消火剤

棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、使ってはならない。

物質そのもの、調剤に含有される成分、燃焼または高温により発生するガス等による特定有害危険性
不完全燃焼を与える条件下で生成する有害ガスの組成は、

一酸化炭素

二酸化炭素 (CO₂)

有機物質が燃焼した際に発生するガスは、基本的に呼吸に有害であるものとして対処すること。

消火を行う者の保護

自給式呼吸器 (EN 133)。

環境に対する注意事項

堤防を築き、消火に使った水を回収します。

その他の情報

散水して容器/タンクを冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置

皮膚や眼との接触は避ける。熱や発火源から遠ざける。十分に換気する。

環境に対する注意事項

もれやこぼれがそれ以上起こらないようにする。下水/地表水/地下水に流出させないこと。堤防を築き、消火に使った水を回収します。

除去方法

不活性の吸収材 (砂、シリカゲル、酸性接着剤、汎用接着剤、おがくず) で吸収させる。適切な密閉容器に入れ、廃棄する。現地の規定に従って処分します。

製品名	n-酪酸無水物		AGHS/JP
MSDS 番号	80510	改訂日	28.3.2019
改定番号	5	発行日	28.3.2019

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全取り扱い注意事項

作業室の換気や排気を十分に行う。.

混触禁止物質

たくわえからの:、塩基類、アミン類、アルコール類、水

防火、防爆に関する注意

発火源から離しておいてください: 禁煙。 . 静電気の放電防止のため必要な措置を講じること。 . 物質輸送時には容器をしっかりと置き固定します。 . 火災の場合は、散水による緊急冷却が利用できる必要がある。

物質の保管

施錠して保管すること。 . 乾燥した、涼しい、換気のよい場所で保管する。 .

混触禁止物質

たくわえからの:、塩基類、アミン類、アルコール類、水

技術対策/保管条件

乾燥した、涼しい、換気のよい場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。 . 容器をしっかりと閉めます。 . 保管中は、製品と水との接触を絶対に避ける。 .

8. 暴露防止及び保護措置

ACGIH Exposure Limits

曝露限界は確立されていない。

OSHA曝露限度

曝露限界は確立されていない。

曝露防止

設備対策

従業員の曝露を管理する唯一の方法として、全般換気または希釈換気は不十分なことが多い。局所排気が通常好ましい。爆発防止装置（例えばファン、スイッチ、接地導管など）は機械換気システムで使用する必要がある。

保護具

一般的アドバイス

皮膚と眼との接触を避けます。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。安全シャワーのある場所でのみ使うこと。洗眼場を利用できるようにしておくこと。

製品名	n-酪酸無水物		AGHS/JP
MSDS 番号	80510	改訂日	28. 3. 2019
改定番号	5	発行日	28. 3. 2019

適切な衛生対策	使用中は、飲食や喫煙をしないでください。直ちに汚染された衣服を脱ぎます。・休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。・
呼吸用保護具	エアロゾルまたは蒸気が存在する場合は、呼吸保護具が必要です(ガスフィルタA)。・要綱手順に従う上述のフィルタ付きの全面マスクまたは自給式呼吸装置。用具は EN 136 または EN 140 と EN 143に準拠している必要がある。
目の保護具	密着性の高い安全ゴーグル。ゴーグルとさらに、顔に飛び散る可能性がある場合は顔を保護するハンドシールドを装着する。・保護具はEN 166に準拠していなければならない。・
皮膚の保護	不浸透性衣服
手の保護具	耐薬品性手袋
適した材質	ブチルゴム
対照物質	Isobutyric anhydride
タイプ	Butoject (KCL社) またはそれに相当する物。あるいは手袋製造業者の推奨事項を参照する
評価	EN 374に準拠: レベル6
材質の厚さ	約 0.3 mm
破過時間	approx. 480 min

9. 物理的および化学的性質

物理的状態

形状	液体
色	無色
臭い	刺激臭
引火点	88° C
方法	密閉式
発火点	279° C
爆発下限	0.9 `フソマ%
爆発上限	5.8 `フソマ%
融点/範囲	-75-C
沸点・沸騰範囲	198-C @ 1013 hPa
密度	0.966 - 0.967 g/ml @ 20° C
pH	5.4
蒸気圧	0.4 hPa @ 20-C
蒸気密度	5.4 (Air=1)
水溶性	加水分解
オクタノール/水分配係数	1.39 (計算値)

製品名	n-酪酸無水物		AGHS/JP
MSDS 番号	80510	改訂日	28.3.2019
改定番号	5	発行日	28.3.2019

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の取扱い、使用、輸送条件下では安定である。

避けるべき条件

点火源を避ける。熱、火花、直火、静電放電と接触させないこと。

不適合物質

たぐわえからの：、アミン類、塩基類、アルコール類

11. 有害性情報

健康への影響

暴露の主経路 皮膚、目、吸入、誤飲

即時有害性

皮膚	皮膚に炎症を引き起こす。過剰暴露の症状：皮膚の赤み、腫れ、かゆみ、痛み、乾燥、かさつき、皮膚の剥がれ、皮膚の硬化、皮膚の皸裂、皮膚の潰瘍、皮膚の癌、皮膚のその他の病変。
眼	眼に炎症を引き起こす。眼の赤み、腫れ、かゆみ、痛み、乾燥、かさつき、眼の充血、眼の分泌物、眼の視力低下、眼の失明。
吸入した場合	呼吸器の重度の熱傷が生じることがあります。呼吸器の炎症、呼吸器の腫れ、呼吸器の痛み、呼吸器の乾燥、呼吸器のかさつき、呼吸器の剥がれ、呼吸器の硬化、呼吸器の皸裂、呼吸器の潰瘍、呼吸器の癌、呼吸器のその他の病変。
飲み込んだ場合	消化器に痛みを引き起こす。消化器の炎症、消化器の腫れ、消化器の痛み、消化器の乾燥、消化器のかさつき、消化器の剥がれ、消化器の硬化、消化器の皸裂、消化器の潰瘍、消化器の癌、消化器のその他の病変。

Butyric anhydride

急性毒性(経口)	LD50: > 5000 mg/kg, ラット
急性毒性(経皮)	LD50: > 5000 mg/kg, ウサギ
急性吸入毒性	LC50: > 2200 (calculated) ppm, ラット, 8h
皮膚腐食性 / 刺激性	刺激性のある
種	ウサギ
眼に対する重大な損傷/刺激性	強度の目への刺激
種	ウサギの目

記載されている毒性データは、経験値による推測値。

